

特別展

企画展

千家十職 × みんなく
茶の湯のものづくり
と世界のわざ

「ひとり×みんな」
ものづくり
リレーワークショップ

参加者が次回の参加者へと
作品を順繰りに受け渡し、最後
の回で作品が完成するリレー
形式のワークショップです。(事
前申込制)
実施日
●第一回 四月二六日(日)、
●第二回 四月二七日(月)、
●第三回 四月二九日(水・祝)、
●第四回 五月二日(土)、
●第五回 五月四日(月・祝)
*各回一〇時から一六時三〇
分時まで
会場 エントランスホール

「チベット
ボン教の神がみ」
一四世紀以降に確立したポ
ン教の図像学を通じてボン教
の神がみを紹介し、チベット仏
教とはやや異なる世界をご覧
いただきます。
会期 四月二三日(木)～七月
二二日(火)
会場 常設展示場内

「ナシ族画家が描く生活
世界—雲南省西北部で
はぐくまれた絵心」
会期 六月三日(火)まで
会場 常設展示場内
*四月二五日(土)、五月九日
(土)に研究者によるギャラリー
トークとワークショップ、「トン
パ文字de絵を描こう」、「トン
パ文字de書を開催します」。

●外国人研究員の紹介
WERBNER, Richard
(ワーブナー・リチャード)氏
マンチェスター大学国際現
代文化研究センター所長。研究
課題は「南部アフリカにおける
憑霊信仰の研究—民族誌記述
と映像記録の総合から」。
期間 三月二日～六月二〇日

●本館へのアプローチを改修
しました。
正門に加えて南東角からも
入っていただけるよう、新しい
門を設けました。そのほか、レ
ストランの外にウッドデッキ
を設置し、パラソルと椅子も置
きました。ティータムにもレ
ストランをご利用ください。

●無料観覧日のお知らせ
五月五日(火・祝)のこどもの
日は、特別展・常設展を無料で
観覧いただけます。ただし、自
然文化園を通行される場合は
入園料が必要です。
*催しの詳細及びお申し込み
については、みんなくホームペ
ージをご覧ください。

刊行物紹介

■信田敏宏、真崎克彦 編著
『東南アジア・南アジア
開発の人類学』
(みんなく実践人類学シリーズ6)
明石書店 定価5,250円(税込)
東南アジア・南アジア各地で見られる
開発の事象を丹念に考察。開発が現地
の人びとに及ぼした影響に目を向け、
「開発をする側」ではなく「開発をされ
る人びとの側」からの人類学構築を目
指す。人類学が開発援助にどのように
貢献できるのかを模索した一冊。



■bTsan lha Ngag dbang Tshul
khrims (著)
Marielle Prins・長野泰彦(編)
『A Lexicon of the rGyalrong
bTsanlha Dialect
—rGyalrong-Chinese-Tibetan-
English』Bon Studies 12
(国立民族学博物館調査報告No.79)

*詳細は、いずれも情報企
画課情報企画係(電話〇六一
六八七八―八五三三)までお問
い合わせください。(平日九時
～一七時)

お問い合わせ 財団法人千里文
化財団事業部
電話 〇六―六八七七八八九三
(平日九時～一七時)

みんなくゼミナール

会場 国立民族学博物館 講堂
時間 13:30～15:00 (13:00開場)
定員 450名 (当日先着順)
参加費 無料

展示場をご覧になる方は、観覧料が必要
です。

第371回 4月18日(土)
「千家十職の家を継ぐ」
【特別展関連】

講師 土田半四郎、永樂陽一、黒田益
代、小林繁樹(文化資源研究センター
教授)、八杉佳穂(民族文化研究部教授)、
太田心平(先端人類科学研究部助教)

千利休の形を受け継ぎ発展させてき
た千家十職は、11代から17代を数
えます。家を継ぐおもしろさや難しさを
3人の後継者が韓国などの事例を
まじえて語りあいます。



第372回 5月16日(土)
「千家と職方」【特別展関連】

講師 筒井絛一(財団法人 今日庵茶
道資料館副館長)

茶匠の美意識を受けて職人が道具を
製作するというパターンがはじまった
のが桃山時代です。利休と樂長次
郎、盛阿弥、辻与次郎、宗四郎などとの
関係がそれにあたります。その関係が
定着したのが、千家の歴代と現在の十
職といわれる職人集団。そうした関係
の歴史的展開を考えてみます。



【茶道具定値段附】安永9年(1780)上下2冊→

友の会

友の会講演会 会場●国立民族学博物館 第5セミナー室
定員●96名(先着順、申込不要、当日会員証をご提示ください)

第371回 5月2日(土)
時間●14:00～15:00(13:30開場)
企画展「チベット ポン教の神がみ」関連
チベットのヤングー儀礼
—幸運をよぶいのり
講師 長野泰彦(民族文化研究部教授)
チベット人はツキや運をよびよせるよ
うな霊的存在をヤンとよび、結婚式や
人の死、家畜の売却、収穫時などの生活
の節目で、ヤンを取り込んだり、活力を
再生させたりします。チベット文化圏
にみられるこうした民間信仰の儀礼に
ついてお話しします。
※講演会終了後、会員を対象に見学会をおこ
ないます。

第372回 6月6日(土)
時間●14:00～15:30(13:30開場)
企画展「チベット ポン教の神がみ」関連
ボン教とチベット仏教
講師 立川武蔵(愛知学院大学教授・
民博名誉教授)
ボン教がどのような宗教かを説明する
のは容易ではありません。仏教と驚く
ほどの類似性を示しながら、独自の特
質ももちづけています。ボン教の歴史
とチベット仏教との関係など、ボン
教のさまざまな要素を解説します。

第74回 民族学研修の旅
食は全州にあり
—韓国の食文化体験
期間●6月13日(土)～15日(月)
韓国の「食の都」として知られる全州を
訪問。全州ビビンパブをはじめ本場の
味を体験し、地元の人びとが日々利用
する市場などを見学します。現地では、
民博客員教授であった韓福眞全州大学
校教授の解説も受けながら韓国の食文
化について学びます。
詳細はお問い合わせください。

国立民族学博物館 友の会
電話 06-6877-8893
ファックス 06-6878-3716
電話でのお問い合わせは
月曜～金曜日午前9時から17時まで
をお願いします。
http://www.senri-f.or.jp/
E-mail minpakutomo@senri-f.or.jp

ミュージアム・ショップ

開催中の特別展、「千家十職×みんな
く—茶の湯のものづくりと世界の
わざ」会場出口に、ミュージアム・ショ
ップを特設しています。
伝統的な「茶の湯」世界をより身近
に感じていただける商品のほか、千家
十職の方がたを惹きつけた民博所蔵
の手工芸品に関連する商品も、豊富に



取り揃えています。観覧のお帰りに
ぜひお立ち寄りください。
セネガルのガラス絵 (2,625円) や針金細
工のオートバイ (2,625円)。ウガンダの
カラフルなプレート。ペルー、アヤクチョ
地方の陶器の教会 (1,575円) やグアテマ
ラの幾何学模様のボールや財布類 (399
円～)。ラオスの手編みの籠 (3,780円) ほか。

国立民族学博物館 ミュージアム・ショップ
電話 06-6876-3112
ファックス 06-6876-0875
水曜日定休
ウェブサイトもご覧ください。
オンラインショップ「World Wide Bazaar」
http://www.senri-f.or.jp/shop/
E-mail shop@senri-f.or.jp